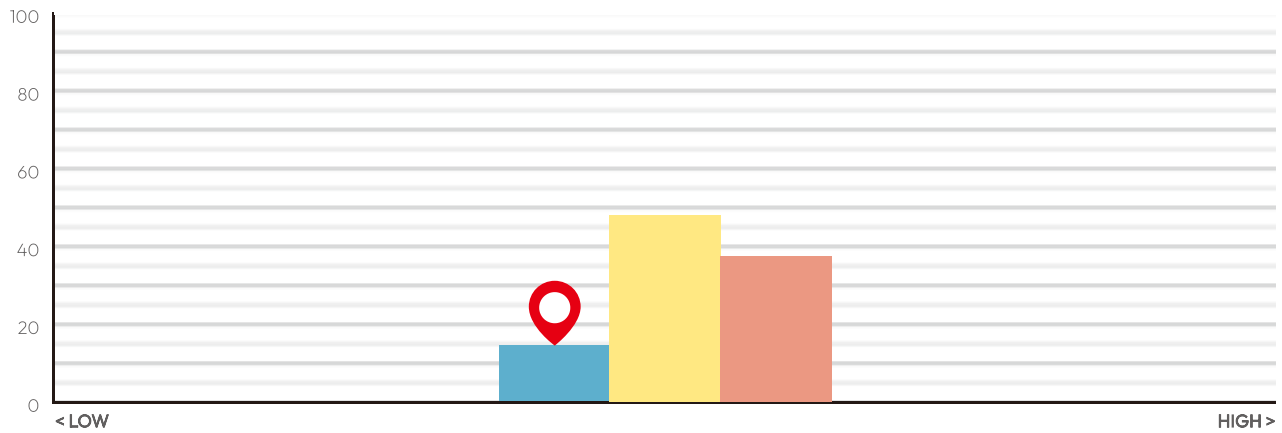


# 男性型脱毛症(AGA)

あなたの遺伝的な発症リスクは**低い傾向**でした



## 結果説明

男性型脱毛症は、男性ホルモンの働きにより、前頭部や頭頂部にかけての髪が細く短くなり、薄毛・抜け毛が進行する症状です。

髪は、髪が伸びて成長する成長期（2～6年）と成長が止まる退行期（2週間）、その後3～4カ月の休止期を経て、古い髪が抜けて新しい髪の毛が生えてくるという周期を繰り返しています。これをヘアサイクルと呼んでいます。

男性型脱毛症患者ではこのヘアサイクルが短くなり、髪が十分に成長せず、薄毛や抜け毛が進行します。

## 項目概要

この項目は「高い傾向」「標準」「低い傾向」の3段階で判定しています。

男性型脱毛症の発症リスクが高い傾向と判定された方は、遺伝的に男性型脱毛症になりやすい傾向のある方です。

男性型脱毛症の発症リスクが低い傾向と判定された方は、遺伝的に男性型脱毛症になりにくい傾向のある方です。

## 予防と対策

男性型脱毛症は進行するので、放っておくと髪は徐々に細くなり、本数が減っていきます。遺伝要因と環境要因のいずれか、あるいは双方が加わることにより発症するものと考えられていますので、遺伝子検査で自身の脱毛リスクを知り、環境要因となる生活習慣を見直して、正しいヘアケアに努めましょう。

髪に影響する生活習慣としては、偏った食事、睡眠不足、過剰な飲酒、運動不足、喫煙、ストレスなどがマイナス要因として挙げられます。この中で当てはまるものがある方はライフスタイルを見直しましょう。また、シャンプーは1～2日に1回程度で十分です。汗をたくさんかいて1日に何度も髪を洗うときは、汗だけを流してシャンプーなどを使わないようにしましょう。また、下記のシャンプーの手順にそって洗髪しましょう。

<シャンプーの手順>

- ① シャンプー前に軽くブラッシング  
(時間があれば蒸しタオルで10分ほど髪を蒸らす)
- ② ぬるめのお湯で下洗い
- ③ シャンプーを手でよく泡立てる
- ④ 泡立てたシャンプーを頭につけ、爪を立てずに指の腹で優しく地肌を洗う
- ⑤ 洗い残しがないようにシャンプーをしっかりと洗い流す
- ⑥ リンスやトリートメントは地肌ではなく髪になじませ、しっかりと洗い流す
- ⑦ 髪をこすらず両手で水分を押し出すようにタオルドライ
- ⑧ ドライヤーを髪から15～20cmほど離して乾かす

なお、男性型脱毛症には、20番染色体とX染色体が関わっていると考えられており、本検査は20番染色体のみの検査になります。さらに詳しく知りたい方や、男性が型脱毛症が気になる方は、X染色体上にあるAR遺伝子のCAGリピート数などを調べる遺伝子検査を受けることもご検討してみたいかかでしょうか？

## 遺伝子多型の頻度情報/解析遺伝子情報

多型部位	関連遺伝子	遺伝子型			説明	信頼性
		1st (頻度)	2nd (頻度)	3rd (頻度)		
GH200204	none	TT(37.4%)	TC(48.1%)	CC(14.5%)	遺伝子の特定には至っていませんが、この部位がTT型TC型の場合、男性型脱毛症の遺伝的リスクが高い傾向があると報告されています。	3

## 参考文献

Liang B. et al. Genetic variants at 20p11 confer risk to androgenetic alopecia in the Chinese Han population. PLoS One. 2013 Aug 26;8(8):e71771. doi: 10.1371/journal.pone.0071771. eCollection 2013.